

発議第1号

新型コロナウイルス感染症対策及び緊急の経済対策に関する決議

上記の議案を下記のとおり提出する。

令和2年3月19日

提出者

石井孝治	加藤博男	長島 強	稲葉寛之	後藤哲朗	堀 努	島 直也
寺澤 潤	平井正樹	杉本 護	風間重樹	山梨 涉	大石直樹	池邨善満
尾崎行雄	宮城展代	池谷大輔	畑田 響	福地 健	早川清文	寺尾 昭
安竹信男	井上智仁	佐藤成子	水野敏夫	望月俊明	大村一雄	尾崎剛司
丹沢卓久	牧田博之	繁田和三	山根田鶴子	松谷 清	内田隆典	白鳥 実
山本彰彦	中山道晴	望月厚司	亀澤敏之	遠藤裕孝	石上顕太郎	井上恒彌
田形清信	鈴木和彦	伊東稔浩				

新型コロナウイルス感染症対策及び緊急の経済対策に関する決議

世界的に感染が拡大する新型コロナウイルスの脅威に対し、日本国政府においては、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を定め、国内での感染拡大防止に全力を挙げており、小中学校、高校、特別支援学校の一斉の臨時休業や大規模なイベント開催の自粛の要請など様々な対応を講じている。

本市においては、集団感染のあったクルーズ船から下船した市民の感染と市内スポーツクラブの利用が確認されるなど、市内での感染拡大を懸念し、市民の多くが不安を感じているところである。

加えて、中小企業を中心に多くの企業が集積する本市においては、外国人旅行者の訪日中止による宿泊のキャンセルや部品・材料の供給不足に伴う生産活動の停滞、ウイルス感染に係る風評被害、消費意欲の減退などにより、宿泊業、製造業、飲食業のみならず幅広い業種において、売上減少や資金繰り悪化などの損害が生じ、市内経済全体にも大きな影響を与えるものである。

このような事態の収束に向けては、行政と関係機関の連携はもとより、市民も一致団結して取り組む必要がある。

現在、静岡市では、新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部を設置し、国、静岡県、医療関係者、事業者などと連携しながら、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策や市民の安

心安全の確保、適切な情報提供、市内事業者の支援などに取り組んでいるところである。

静岡市議会としても、市を始め、国や静岡県等関係機関に対し、更なる感染拡大の防止や緊急の経済対策に取り組むよう求めるとともに、市民の生命と健康を守り、事態の収束に向けて、行政等と連携・協力して新型コロナウイルス感染症に関する対策に全力で取り組むことをここに誓うものである。

以上決議する。